

山梨県社会福祉協議会

会長表彰及び感謝状贈呈候補者 推薦時の手引き

(1) 表彰規程	1
(2) 県社協会長表彰推薦時の注意事項	3
(3) 推薦書作成時の注意点 (会長表彰関係)	
①民生委員・児童委員功労	4
②民間社会福祉施設役職員功労	5
③民間社会福祉団体役職員功労	6
④優良社会福祉協議会	7
⑤ボランティア活動功労(個人)	8
⑥ボランティア活動功労(団体)	9
(感謝状関係)	
⑦公立社会福祉施設職員	10
⑧金品寄付・労力提供(個人)	11
⑨金品寄付・労力提供(団体)	12
(4) 令和8年度山梨県社協会長表彰推薦事務に関するQ&A	13
(5) 別表「山梨県社会福祉協議会会長表彰社会福祉施設一覧」	17

表彰規程

（目 的）

第 1 条 この規程は、社会福祉事業に功績のあったもの、並びに地区・団体及び協力援助したものに對して行う本会会長表彰、感謝状について必要な事項を定めることを目的とする。

（表彰の対象）

第 2 条 本会会長表彰の対象となるものは、次の各号に定めるものとする。

- (1) 民生委員・児童委員として 12 年以上在職し、その功績顕著である者
- (2) 民間社会福祉施設、団体の役職員として 15 年以上在職し、その功績顕著である者
- (3) 社会福祉協議会活動が優れており、他の模範となる社会福祉協議会
- (4) ボランティア活動、共同募金奉仕等において具体的な実践活動を 10 年以上継続して行っており、その功績顕著である者及び団体
- (5) その他、本会会長が功績顕著であると認めたもの

2 前項各号に該当するもののうち、次の各号によりそれぞれ社会福祉事業功労者として表彰された者は除く。

- (1) 叙位、叙勲及び藍綬褒章、黄綬褒章を受けた者
- (2) 厚生労働大臣、全国社会福祉協議会会長から表彰を受けた者
- (3) 知事及び本会会長から表彰を受けた者

（感謝の対象）

第 3 条 本会会長が感謝の意を表する対象となるものは、次の各号に定めるものとする。

- (1) 公立社会福祉施設の職員で、15 年以上（現場のみ）在職し、その功績顕著である者
- (2) 民間社会福祉施設、団体に対し、30 万円以上に相当する金品の寄付、或いは労力の提供等により貢献された者
- (3) 本会活動に功績顕著な者
- (4) その他、本会会長が認めたもの

（表彰及び感謝の数）

第 4 条 表彰及び感謝の数は、予算の範囲内において本会会長がその都度定める。

（顕彰の方法）

第 5 条 表彰及び感謝は、社会福祉大会においてこれを行う。

但し、特別な場合にはその都度行うことができる。

2 顕彰は、表彰状、感謝状、特別感謝状及び記念品を贈り、これを行う。

(顕彰者の推薦)

第 6 条 市町村社会福祉協議会は、この規程に定める表彰又は感謝の対象となるものを別に定める様式により、本会会長に推薦するものとする。

2 本会会長は、前項の規定にかかわらず、その候補者を推薦することができる。

(顕彰者の選定)

第 7 条 本会に顕彰審査委員会を設け、表彰または感謝の対象者の審査を行う。

2 顕彰審査委員会に関することは、本会会長が別に定める。

附 則

1 この規程は、昭和 52 年 7 月 1 日から施行する。

2 昭和 26 年 7 月制定の表彰規程は、この規程の施行をもって廃止する。

附 則

1 この規程は、昭和 57 年 6 月 25 日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成 13 年 6 月 1 日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成 18 年 6 月 1 日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成 18 年 9 月 5 日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成 24 年 6 月 14 日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成 25 年 5 月 16 日から施行する。

附 則

1 この規程は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

山梨県社会福祉協議会会長表彰推薦上の注意事項

- 1 表彰における推薦基準日は当該年度の「12月1日現在」とします。
- 2 表彰規程第2条第2項により既に表彰された次の者は対象外です。
 - (1) 叙位、叙勲及び藍綬褒章、黄綬褒章を受けた者
 - (2) 厚生労働大臣、全国社会福祉協議会会長から表彰を受けた者
 - (3) 知事及び本会会長から表彰を受けた者
- 3 民間社会福祉施設・団体の役職員として15年以上在職し、その功績顕著である者の在職期間の通算方法について
複数の民間社会福祉施設や民間社会福祉団体での在職期間を通算することは可能です。
ただし、役員歴と職員歴を通算することはできません。
- 4 ボランティア活動、共同募金奉仕等において具体的な実践活動を10年以上継続して行っており、その功績顕著であるもの（個人）の推薦基準について
「社会福祉事業功労者等に対する知事表彰推薦基準」に準じ取り扱うこととします。
ボランティア組織を通しての活動は対象外とし、組織の所属の有無にかかわらず、個人として具体的な奉仕活動を10年以上にわたり継続的に行っている場合を対象とします。
- 5 ボランティア活動、共同募金奉仕等において具体的な実践活動を10年以上継続的に行っており、その功績顕著である団体の推薦基準について
「社会福祉事業功労者等に対する知事表彰推薦基準」に準じ取り扱うこととします。
直接、個々具体的な奉仕活動（社会福祉施設ボランティア、子育てボランティア、配食ボランティア等）を10年以上にわたり継続的に行っている場合を対象とします。

付則 この推薦基準は、令和5年4月1日から適用する。

推薦書作成上の注意点

民生委員・児童委員功労

様式1

被表彰候補者推薦書

表彰規程（第2条1号該当者）

推薦社協名

〇〇〇〇〇社会福祉協議会

個々の推薦書への会長印の押印を廃止します。

経歴概要の通算合計と合せること

(ふりがな)		性 別		在 職 期 間		(通算12年以上)	
氏 名		☐ 男 ☐ 女		(本年12月1日現在)		** 年 ** カ月	
※戸籍上の名前を楷書で記入のこと。 (特に常用漢字以外の場合ははっきりとご記入ください)		生年月日		**** 年 ** 月 ** 日 (本年12月1日現在)			
現 住 所 (自 宅)		職 業		※固有有明ではなく、業種を記入すること。			
西暦で記載		功 績 概 要		【記入例】 一人暮らし高齢者の生活支援に尽力し、ふれあいいきいきサロンの運営に取り組み、孤立しがちな高齢者と地域社会とのつながりに役立っている。 2000年に、所属する〇〇市〇〇地区民児協の会長となり、民生委員児童委員同士の十分な意思疎通が図れるよう、定期的な例会開催など組織運営に取り組んでいる。 また、2000年には、〇〇市民児協理事として、市全体のふれあいいきいきサロンの活性化や近隣の民児協との交流を推進するなど、市民児協組織発展への功績は顕著である。			
表 彰 歴		功 績 概 要		功 績 概 要			
20** 年 ** 月 ** 日		民生委員児童委員功労		市長表彰			
20** 年 ** 月 ** 日		民生委員児童委員功労		市社協会長表彰			
民生委員・児童委員としての活動実績や民児協での組織発展の功績などを端的に記入してください。		功 績 概 要		功 績 概 要			
民生委員児童委員としての経歴概要		民生委員児童委員 在職期間		役 歴			
委嘱年月日		退任年月日		在職期間			
20** 年 ** 月 ** 日		20** 年 ** 月 ** 日		** 年 ** カ月			
20** 年 ** 月 ** 日		年 月 日		** 年 ** カ月			
西暦で記載		年 月 日		年 カ月			
年 月 日		年 月 日		年 カ月			
年 月 日		年 月 日		年 カ月			
年 月 日		年 月 日		年 カ月			
年 月 日		年 月 日		年 カ月			
年 月 日		年 月 日		年 カ月			
年 月 日		現在に至る		年 カ月			
(通算合計)		** 年 ** カ月		右上の在職期間と一致すること			
所属の民生委員児童委員協議会名		※どこの民児協に所属しているか記入すること。 例) △△地区民生委員児童委員協議会					
現在関係する公私の団体・機関名及び職名		(記載例) 例) 〇〇市社会福祉協議会 理事 〇〇市農業委員					
参考事項		※その他参考事項があれば記入してください、					

推薦書作成上の注意点

民間社会福祉施設役職員功労

様式2の1

被表彰候補者推薦書

表彰規程（第2条2号該当者）

推薦社協名

〇〇〇〇社会福祉協議会

個々の推薦書への会長印の押印を廃止します。

経歴概要の通算合計と合せること

(ふりがな)		性 別		在任期間		役職員として通算15年以上	
氏 名		☒ 男 ☐ 女		本年12月1日現在		** 年 ** ヵ月 (通算)	
現職の		生年月日		**** 年 ** 月 ** 日 (本年12月1日現在)			
①法人名又は施設名		※正式名称を必ず記入のこと。		西暦で記載 (満 ** 歳 ** ヵ月)			
②施設種別		※必ず記入のこと。		現住所 (自宅)			
③役 職 名		※必ず記入のこと。		※必ず記入のこと (アパート・マンション名、部屋番号についてもご記入ください)			
表 彰 歴		受賞年月日		功労内容		表彰名(表彰者)	
		20** 年 ** 月 ** 日		民間社会福祉施設役職員功労		市長表彰	
		20** 年 ** 月 ** 日		〇〇職員功労		〇〇会長表彰	
		年 月 日					
民間社会福祉施設の役職員としての経歴概要		就任(職) 年 月 日		退任(職) 年 月 日		在職期間	
		20** 年 4 月 1 日		20** 年 ** 月 ** 日		** 年 ** ヵ月	
		20** 年 ** 月 ** 日		20** 年 ** 月 ** 日		** 年 ** ヵ月	
		20** 年 ** 月 ** 日		年 月 日		** 年 ** ヵ月	
		西暦で記載 年 月 日		年 月 日		年 ヵ月	
		年 月 日		年 月 日		年 ヵ月	
		年 月 日		年 月 日		年 ヵ月	
		年 月 日		年 月 日		年 ヵ月	
		年 月 日		年 月 日		年 ヵ月	
		年 月 日		現在に至る			
		(通算合計)		** 年 ** ヵ月		右上の在職期間と一致すること	

【記入例】
20〇〇年4月に介護員として勤務し、介護経験がない中、人一倍努力を重ね介護福祉士の資格を取得し、持ち前の責任感の強さと誰とも協調できる性格などが評価され、20〇〇年に主任介護員、20〇〇年には係長に昇進し、現在に至る。20〇〇年から法人本部のリスクマネジメント委員会委員として、施設内の事故防止の対策を立案し、安全な施設環境を整えた役割は大きい。また、施設内研修の講師を務めるなど、施設サービスの向上及び法人組織発展への功績は顕著である。

法人・施設等の発展、サービスの向上等に果たした役割等を端的に記入してくだ

※注意
在職期間は、正規職員の週の勤務日数を基礎として算出しています。パート職員など、週の勤務日数が異なる場合は、こちらの欄に次の例示のように補足説明を記入ください。
【記入例】
2010年4月～2011年3月のパート支援員の勤務時間は週4日、1日7時間45分です。(正規職員は、週5日、1日7時45分です)
※その他参考事項があれば記入してください。

推薦書作成上の注意点

民間社会福祉団体役職員功労

様式2の2

被表彰候補者推薦書

表彰規程（第2条2号該当者）

推薦社協名または推薦団体名 ○○○○社会福祉協議会 または ○○○○会

個々の推薦書への会長印の押印を廃止します。

経歴概要の通算合計と合せること

(ふりがな)			性 別	在任期間	役職員として通算15年以上
氏 名	※戸籍上の名前を楷書で記入のこと。 (特に常用漢字以外の場合ははっきりとご記入ください)		☒ 男 ☐ 女	本年12月1日現在	** 年 ** 月 (通算)
現職の ①法人名又は施設名	※正式名称を必ず記入のこと。		生年月日	**** 年 ** 月 ** 日 (本年12月1日現在) 西暦で記載 (満 ** 歳 ** 月)	
②施設種別	※必ず記入のこと。		現住所 (自宅)	※必ず記入のこと (アパート・マンション名、部屋番号についてもご記入ください)	
③役 職 名	※必ず記入のこと。				
表 彰 歴	西暦で記載	受賞年月日	功労内容	表彰名(表彰者)	功 績 【記入例】 20〇〇年4月入職後、生活支援課、総務課、地域福祉課と様々な課で経験を積み、特に地域福祉課配属時に、一人暮らし高齢者への配食サービス事業が財源不足により廃止されないよう、行政との折衝にあたり中心的役割を担い予算獲得を実現した。 また、一人暮らし高齢者や高齢者世帯が多い地域のニーズに対応し、地区社協の設置とその活性化を図りながら、配食サービスやサロンの開催などの事業の充実に尽力し、実施箇所数の増加に大きく貢献するなど、地域福祉の推進への功績は顕著である。
		20** 年 ** 月 ** 日	民間社会福祉団体役職員功労	市長表彰	
		20** 年 ** 月 ** 日	〇〇職員功労	〇〇会長表彰	
民間社会福祉団体の役職員としての経歴概要	西暦で記載	就任(職) 年 月 日	退任(職) 年 月 日	在職期間	職 名
		20** 年 4 月 1 日	20** 年 ** 月 ** 日	** 年 ** 月	主事
		20** 年 ** 月 ** 日	20** 年 ** 月 ** 日	** 年 ** 月	主任
		20** 年 ** 月 ** 日	年 月 日	** 年 ** 月	係長
		年 月 日	年 月 日	年 月	
		年 月 日	年 月 日	年 月	
		年 月 日	年 月 日	年 月	
		年 月 日	年 月 日	年 月	
		年 月 日	年 月 日	年 月	
		年 月 日	現在に至る		
(通算合計) ** 年 ** 月					右上の在職期間と一致すること

※注意
在職期間は、正規職員の週の勤務日数を基礎として算出しています。パート職員など、週の勤務日数が異なる場合は、こちらの欄に次の例示のように補足説明を記入ください。
【記入例】
2010年4月～2011年3月のパート支援員の勤務時間は週4日、1日7時間45分です。(正規職員は、週5日、1日7時間45分です)
※その他参考事項があれば記入してください。

推薦書作成上の注意点

**優良社会福祉協議会
被表彰候補推薦書**

様式3

表彰規程（第2条3号該当者）

個々の推薦書への会長印の押印を廃止します。

推薦社協名

〇〇〇〇〇社会福祉協議会

市町村社協ほか、組織体制が確立されている地区社協も対象になります。

(ふりがな)				(ふりがな)			
社 協 名	※必ず記入のこと。社会福祉協議会			代表者氏名	※必ず記入のこと。		
所 在 地	〒 ー ※必ず記入のこと。(アパート・マンション名、部屋番号についてもご記入ください) 西暦で記載						
社協設立年月日	年	月	日	会 員 数	名	← 会員数を記載	
推薦案件 (事業・活動の名称)	【記入例】 権利擁護支援事業、災害ボランティア活動推進事業、買い物支援事業、子育て支援事業 過去3年以上、高齢者、障害者、児童または低所得等を対象とした活動を行っていること						
活動概要	推薦の活動・事業について (1) 概要 ①目的 ②実施主体及び協力者(数) ③対象者 ④実施期間 ⑤活動・事業の財源 ※その他、特筆すべき事項 (2) 当該活動の実行を具体的、簡潔にご記入ください。						
推薦理由	※事業・活動等の実績・効果など、具体的かつ簡潔に記入してください。 ← ①事業の先駆性、独自性、②当該サービスの経年での利用実績等、他の社協の範となる理由を記入ください。						

参 考 資 料

- (1) 定款を添付のこと
- (2) 役員構成、今年度予算書、事業計画書を添付のこと
- (3) 上記活動に関する広報資料、活動内容・活動実績を掲載した関係資料を添付のこと

推薦書作成上の注意点

ボランティア活動功労（個人）

様式4の1

被表彰候補者推薦書

表彰規程（第2条4号該当者）

個々の推薦書への会長印の押印を廃止します。

推薦社協名または
推薦団体名

〇〇〇〇社会福祉協議会 または
〇〇〇〇会

10年以上継続して活動を行っていること

(ふりがな)		性 別		活 動 期 間		(10年以上)	
氏 名		☒ 男 ☐ 女		(本年12月1日現在)		** 年 ** カ月	
※戸籍上の名前を楷書で記入のこと。 (特に常用漢字以外の場合ははっきりとご記入ください)		生年月日		**** 年 ** 月 ** 日 (本年12月1日現在)			
現 住 所 (自 宅)		職 業		※固有名ではなく、業種を記入すること。			
〒 —							
西暦で記載							
表 彰 歴	受賞年月日	功労内容	表彰名(表彰者)	功 績 概 要	【記入例】 20〇〇年4月より、配食ボランティアとして一人暮らしの高齢者などに対し、食事の提供とともに、安否確認を行う活動について長きにわたり尽力している。 また、〇〇市社協の地域福祉事業にも積極的に協力していただいております、地域福祉の推進への功績は顕著である。		
	20** 年 ** 月 ** 日	〇〇活動功労	市長表彰				
	20** 年 ** 月 ** 日	〇〇活動功労	市社協会会長表彰				
	年 月 日						
年 月 日							
推薦案件 (活動の名称)		【記入例】 〇〇施設訪問ボランティア、美化活動ボランティア、配食ボランティア					
活動概要		(1) 活動の状況 (①～④) ①活動始期 20** 年 4 月 ②活動年数 10 年 8 カ月 ← 10年以上 ③活動頻度 月 ・ 週 2 回 (年間約 150 日) ④活動時間 1日 (回) あたり 2 時間程度 (2) 活動の具体的内容 ※活動の内容がわかるよう、具体的に記載してください (3) その他特筆事項 ※その他と起筆すべき事項などがあれば記載すること 西暦で記載 どちらかを□で囲む					
現在関係する公私の団体・機関名及び職名		〇〇市〇〇委員会委員 △△地区〇〇連絡協議会委員					
参考事項		※その他参考事項があればご記入ください。					

推薦書作成上の注意点

ボランティア活動功労（団体）

様式4の2

被表彰候補者推薦書

表彰規程（第2条4号該当者）

個々の推薦書への会長印の押印を廃止します。

推薦社協名または推薦団体名 ○○○○社会福祉協議会 または ○○○○会

(ふりがな)			(ふりがな)		
団体名	※正式名称を記入のこと			代表者名	※必ず記入のこと
事務所住所	〒 ー ※必ず記入のこと(アパート・マンション名、部屋番号についてもご記入ください)				
活動期間 (本年12月1日現在)	(10年以上) 10年以上継続して活動を行っている 年 カ月				
表彰歴	受賞年月日	功労内容	表彰名(表彰者)	功績概要	【記入例】 設立以来、同クラブは市内の高齢者施設や介護施設、いきいきサロン等を中心に訪問し、○○○の演奏によるボランティア活動を行っている。また、行政等が開催する様々なイベントにも積極的に参加し、活動の輪を広げている。 さらに、○○市社協とボランティア団体等が連携して開催した「○○○交流フェスタ」では、開会式セレモニーの伴奏役を務めるなど、地域福祉の推進への功績は顕著である。
	20** 年 ** 月 ** 日	○○活動功労	市長表彰		
	20** 年 ** 月 ** 日	○○活動功労	市社協会会長表彰		
	西暦で記載 月 日				
功績内容を端的に記入し、功績顕著である理由を明記してください					
推薦案件 (活動の名称)	【記入例】 ○○施設ボランティア、子育てボランティア、芸能ボランティア				
活動概要	(1) 活動の状況 (①～④)				
	①活動始期 20** 年 4 月 西暦で記載				
	②活動年数 10 年 8 カ月 10年以上				
	③活動頻度 月・週 3 回 (年間約 40 日)				
④活動時間 1日(回)あたり 2 時間程度					
(2) 活動の具体的内容					
※活動の内容がわかるよう、具体的にかつ簡潔に記載すること					
(3) その他特筆事項					
※その他と起筆すべき事項などがあれば記載すること					
現在関係する 公私の団体・ 機関名及び職 名	○○市ボランティア連絡協議会会員				
参考事項	※その他参考事項があればご記入ください。				

推薦書作成上の注意点

公立社会福祉施設職員（感謝）

様式5

被表彰候補者推薦書

表彰規程（第3条1号該当者）

推薦社協名

〇〇〇〇〇社会福祉協議会

個々の推薦書への会長印の押印を廃止します。

経歴概要の通算合計と合せること

(ふりがな)		性 別		在任期間		職員（現場のみ）として通算15年以上		
氏 名		☒ 男 ☐ 女		本年12月1日現在		** 年 ** カ月（通算）		
現職の		生年月日		**** 年 ** 月 ** 日（本年12月1日現在） （満 ** 歳 ** カ月）				
①施設名		※正式名称を必ず記入のこと						
②施設種別		※必ず記入のこと		〒 -				
③役職名		※必ず記入のこと		※必ず記入のこと（アパート・マンション名、部屋番号についてもご記入ください）				
西暦で記載		受賞年月日		功労内容		表彰名（表彰者）		
表 彰 歴		20** 年 ** 月 ** 日		〇〇功労		市社協会長表彰		
		年 月 日						
		年 月 日						
公立社会福祉施設職員としての経歴概要	就任（職）年 月 日		退任（職）年 月 日		在職期間		職 名	
	20** 年 ** 月 ** 日		20** 年 ** 月 ** 日		** 年 ** カ月		保育士	
	20** 年 ** 月 ** 日		年 月 日		** 年 ** カ月		主任保育士	
	西暦で記載		年 月 日		年 カ月			
	年 月 日		年 月 日		年 カ月			
	年 月 日		年 月 日		年 カ月			
	年 月 日		年 月 日		年 カ月			
	年 月 日		年 月 日		年 カ月			
	年 月 日		年 月 日		年 カ月			
	年 月 日		年 月 日		年 カ月			
	年 月 日		現在に至る		年			
					(通算合計)		年 カ月	
功 績 概 要		【記入例】 〇〇市内の3つの保育所に保育士として勤務し、20〇〇年に主任保育士となり現在に至っている。 県や県保育協議会等が開催する研修会にも積極的に参加し、その内容を施設内の研修会等で発表したり、施設内研修の講師を務めるなど、〇〇市の保育内容の充実発展への功績は顕著である 施設等の発展、サービスの向上等に果たした役割等を端的に記入してください。						
参 考 事 項		※その他参考事項があればご記入ください。 右上の在職期間と一致すること						

推薦書作成上の注意点

金品寄付・労力提供（感謝）

様式6の1

被表彰候補者推薦書（個人）

表彰規程（第3条2号該当者）

個々の推薦書への会長印の押印を廃止します。

推薦社協名または推薦団体名 ○○○○○社会福祉協議会 または
○○○○○会

(ふりがな)					
氏 名	※戸籍上の名前を楷書で記入のこと。 (特に常用漢字以外の場合ははっきり とご記入ください)	性別	☒ 男 ☐ 女	生年 月 日	**** 年 ** 月 ** 日 (本年12月1日現在) (満 ** 歳 ** カ月)
現 住 所 (自 宅)	〒 - ※必ず記入のこと。(アパート・マン ション名、部屋番号についてもご記入く ださい)	職 業	※固有名ではなく、業種を記入すること。		
現在関係する公 私 の 団 体 ・ 機 関 名 及 び 職 名	※現在所属している公私の団体・機関等があれば記入してください。				
功 績 概 要	①寄附受け取り期日 令和 ** 年 ** 月 ** 日 ②受け取り施設・団体名 ○○市社会福祉協議会 ③寄附目的 社会福祉の増進のために ④金額 ○○万円 ⑤その他功績事項があれば記入してください。 ※その他功績事項があれば記入してください。				
参考事項	※その他参考事項があれば記入してください。				

推薦書作成上の注意点

金品寄付・労力提供（感謝）

様式6の2

被表彰候補者推薦書（団体）

表彰規程（第3条2号該当者）

個々の推薦書への会長印の押印を廃止します。

推薦社協名または
推薦団体名

〇〇〇〇〇社会福祉協議会 または
〇〇〇〇〇会

(ふりがな)			
団 体 名	※正式名称を記入のこと		
(ふりがな)			
代表者 役職・氏名	※役職・氏名を必ず記入のこと		
所 在 地	〒 ー ※必ず記入のこと(アパート・マンション名、部屋番号についてもご記入ください)		
設立年月日	20** 年 ** 月 ** 日	会 員 数	** 名
功 績 概 要	①寄附受け取り期日 令和**年**月**日 ②受け取り施設・団体名 〇〇市社会福祉協議会 ③寄附目的 地域福祉の増進のため ④金額 〇〇〇万円 ⑤その他功績事項があれば記入してください。 ※その他功績事項があれば記入してください。		
参考事項	※その他参考事項があれば記入してください。		

西暦で記載

令和８年度山梨県社協会長表彰推薦事務に関する Q&A

本 Q & A は、山梨県社協会長表彰の推薦事務を行うに際し、過去に寄せられた質問、および表彰規程上の文言だけでは具体的解釈が不分明であった事項について、表彰における具体的な取扱いを示すものです。

1 各表彰区分共通

問 1

表彰規程第 2 条第 2 項（2）において、表彰対象とならない者として、社会福祉事業功勞者として過去に「厚生労働大臣（旧厚生大臣）から表彰を受けた者」が規定されているが、この大臣表彰の範囲は。

（答）

大臣表彰については、「全国社会福祉大会」で行われる大臣表彰に加え、民生委員大会や社会福祉施設関係の種別協議会等の記念大会等で行われる大臣表彰（特別表彰含む）など、社会福祉関係の大臣表彰すべてを含みます。

問 2

表彰規程第 2 条第 2 項（3）において、表彰対象とならない者として、「知事及び本会会長から表彰を受けた者」が規定されているが、表彰区分が異なる場合も表彰の対象とはならないのか。

（答）

県社協会長表彰の「民生委員・児童委員功勞」、「民間社会福祉施設役職員功勞」、「民間社会福祉団体役職員功勞」、「ボランティア活動功勞（個人）」の表彰を過去に受けている場合は、他の表彰区分においても表彰の対象とはなりません。

ただし、「優良社会福祉協議会」及び「ボランティア活動功勞（団体）」の表彰区分にあつては、特定の個人を表彰するものではなく、団体の活動を表彰するものであるため、前述の表彰区分で表彰を受けた者が代表者であっても表彰の対象として差し支えありません。

問 3

表彰要件である在職期間の算定に関して、産休・育休機関については在職期間に含めてよいか。

（答）

私的事由による休職を除き、産前・産後休暇、育児休業、就業規則で認められた部分休業や介護休暇等については、在職期間に含めて差し支えありません。

求職・休暇等の区分	在職期間算定上の取り扱い
1. 私的事由による休職	在職期間に 含めない
2. 産前・産後休暇（産休）	在職期間に 含める
3. 育児休業	在職期間に 含める
4. 就業規則で認められた部分休業や介護休暇等	在職期間に 含める

問 4

民間社会福祉施設、団体の職員の非常勤職員においては、在職年数はどのように計算されるか。

（答）

次の算定方式によるものとします。

なお、1日あたりの勤務時間数は問いません。

$$\text{在職年数} \times \frac{\text{非常勤職員の一月又は一週間の勤務日数}}{\text{常勤職員の一月又は一週間の勤務日数}}$$

問 5

既に民生委員児童委員を退任または社会福祉施設従事者で退職している者を被表彰候補者として推薦してよいのか。

（答）

現職に限るとはしていないので、推薦は可能です。

問 6

「民生委員・児童委員功労」「民間社会福祉施設役職員功労」「民間社会福祉団体役職員功労」のいずれにおいても、「功績顕著である者」を要件としているが、この「功績顕著」の解釈は。

（答）

表彰規程第2条の「功績顕著」とは、本県の社会福祉事業の向上・発展のための功績が顕著である者を表彰対象としています。

故に、推薦書に具体的な功績内容を記載していただくようお願いしています。

しかしながら例年、

- ・「長期にわたり勤続し、法人の発展に貢献した」
- ・「勤務態度が良好である」
- ・「他の職員の模範となっている」

といったことのみを「功績概要」に記載している推薦書が多くみられ、こうした記述だけでは功績顕著の具体的な理由としては不十分であり、審査の対象とすることは出来ません。

記入の視点として、下記を参照してください。

【民生委員・児童委員功労】

- ① 民生委員・児童委員として県下での活動実績と民児協において組織発展に貢献する取り組みや業績、
- ② 行政や社協等が設置する福祉関係の委員会や検討会などに委員として参画するなど、地域や県域の福祉推進への貢献、
- ③ 民生委員・児童委員、民児協の活動以外で、地域に根ざした取り組みや功績

【民間社会福祉施設役職員功労】

- ① 所属する組織において組織の発展やサービスの向上に貢献する取り組みや業績、
- ② 所属する組織を通じて、行政や社協等が設置する福祉関係の委員会や検討会などに委員として参画するなど、地域や県域の福祉推進への貢献、
- ③ 種別協議会における役員歴や同研修会等での研究発表、また地域に根ざした取り組みや活動等、その専門性を生かした活動に関する功績

【民間社会福祉団体役職員功労】

- ① 所属する社協・団体等において、組織に貢献する取り組みや業績、
- ② 所属する組織を通じて、行政や社協等が設置する福祉関係の委員会や検討会などに委員として参画するなど、地域や県域の福祉推進への貢献、
- ③ 社協・所属団体以外の場における地域に根ざした取り組みや功績

繰り返しになりますが、例年、具体的な功績の内容が未記入・不分明な推薦書が多く、この場合、功績の確認や追加記入（再提出）をお願いしています。推薦元になる市町村社協及び県域福祉団体等においては、推薦書提出時に上記の功績内容の記載の有無について十分にご確認をお願いします。

2 民間社会福祉施設役職員功労・民間社会福祉団体役職員功労

問 7

複数の民間社会福祉施設での在職期間を通算することは可能か。

(答)

同一法人が経営する複数の施設または法人が異なる複数の施設に在職した期間を通算することは可能です。

ただし、社協と福祉施設、民間社会福祉団体と福祉施設といった表彰区分をまたいでの勤続年数の通算は認められません。

問 8

公立施設に勤務していた者が、民間社会福祉施設に移った場合、在職期間の通算は可能か。

(答)

民間社会福祉施設役職員功労は、経営主体に関わらず、社会福祉施設での勤務を評価するものであり、公私の福祉施設間での在職年数の通算は可能です。

問 9

県外の民間社会福祉施設に勤務していた者が、県内に引っ越してきて民間社会福祉施設に再就職した場合、県外の勤務年数と県内の勤務年数を通算することは可能か。

(答)

県外の施設での勤務経験が、現職における功績に大きく関係しており、表彰に値すると認められる場合においては通算して差し支えありません。

問 1 0

県外在住者だが、県内の民間社会福祉施設へ 1 5 年以上勤務している者を表彰対象者として推薦することは可能か。

(答)

勤務している施設の代表者が功績顕著と認める場合においては、施設が所在する市町村社協を経由し推薦して差し支えありません。

問 1 1

民間社会福祉施設の福祉施設の対象範囲は。

(答)

別表「山梨県社会福祉協議会会長表彰社会福祉施設一覧」を参照ください。

山梨県社会福祉協議会 会長表彰 社会福祉施設一覧

保護施設 救護施設 更生施設 その他保護施設 医療保護施設 授産施設 宿泊提供施設	児童福祉施設 助産施設 乳児院 母子生活支援施設 保育所 認定こども園 児童養護施設 児童心理治療施設 児童自立支援施設 障害児入所施設 児童厚生施設 その他児童福祉施設 児童発達支援センター 児童家庭支援センター
老人福祉施設 養護老人ホーム（一般・盲） 特別養護老人ホーム 軽費老人ホーム （A型、B型、ケアハウス、都市型） 老人デイサービスセンター 通所介護（デイサービス） 老人短期入所施設 短期入所生活介護（ショートステイ） 老人福祉センター 老人介護支援センター	母子・父子福祉施設 母子・父子福祉センター 母子・父子休養ホーム
身体障害者社会参加支援施設 身体障害者福祉センター 補装具製作施設 視聴覚障害者情報提供施設	その他の社会福祉施設等 授産施設 宿泊提供施設 無料定額診療施設 第2種社会福祉事業たる介護老人保健施設 隣保館 その他（地域福祉センター へき地保健福祉館 へき地保育所・季節保育所 盲人ホーム 等）
障害者支援施設等 障害者支援施設 障害福祉サービス事業のうち、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、療養介護、生活介護、短期入所、重度障害者等包括支援、施設入所支援、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援、共同生活援助を行う施設 地域活動支援センター 福祉ホーム	女性自立支援施設（旧婦人保護施設） 女性自立支援施設（旧婦人保護施設）